みんつど

第十五号

編集　天地　成行

村岡鍼灸治療院
山口市湯田温泉５丁目６の１２

かわいい花です

タカさんのナイスショットの一面写真です。これは、去年の3月14日に島根県川本町で撮影したイズモコバイモの写真。ユリの仲間の植物で、2月～3月にきれいな花を咲かせます。「コバイモ」という植物の中で、出雲地域で発見された独自のものであるためこの名がついています。このイズモコバイモは、絶滅危惧種にも指定されており、希少な地域特有の植物です。（ネットより転用）

さてみんつども十五号です。張り切ってまいりましょう。少し私もそう状態であります。というのも、この十四、十五の特集をなんとかうまく仕上げようとしたからです。

精神保健福祉士（PSW）をめざす学生さんのために特集を組みました。ぜひ読んでください。役に立てば幸いです。

そして、今回は四面にスポンサーの方たちの意見も載せていますので併せてよんでみてください。

それではテリー伊藤さんをみながらスタートです。

精神保健福祉士（PSW）めざす学生さんの当事者への質問後編

問い3

精神疾患を発症していた時のことは、覚えているものでしょうか。例えば、その時は、混乱していたりして、きっと冷静でいられなかったりしたと予測できますが、いかがでしょうか。

問い4

精神疾患からの回復に至る中で、ＰＳＷとの出会い等はありましたでしょうか。仮に無かったとすれば、どのようにＰＳＷがそこで役割を果たすとよかったとお考えでしょうか。

問い3に対して

○覚えていますが忘れてる事もあります。人間は嫌な事は忘れて楽しかった事は増幅され覚えてますね。障害年金を申請しようと昔の事を思い出す事をしたら調子が悪くなり入院をするところでした。年金申請で具合が悪くなり入院をする方もいるそうです。自分は年金をもらうために入院をすると思ってましたが違いました。

○発症したときは、昨日のことのように覚えてます。先ず職場で、周囲から、自分のことや、悪いことを言われているような気がし、職場の人がプライベートでも、付け回してきて、いつでもどこでも監視しているように、思えました。妄想が暴走して、その時いた彼女が二週間会社を休んで、側に居てくれましたが、妄想が消えることはありませんでした。ノイローゼみたくなって、そのあと、幻覚幻聴も、あらわれ、自分事で恐縮ですが、彼女に、「パートナーとして弱い」と、婚約までしていた彼女にフラレ、今思い返しても辛い出来事でした。本当に鮮明に覚えてます。

問い4に対して

○若い人がいいですね！男性疾患者には、美人な女性スタッフが、女性疾患者には、イケメンスタッフが、それだけで、癒されるし、元気になれます（笑）。最後に、ここが重要なんですけど、PSWさんは笑顔が出せれば、いくらでも魅力的に見えます。顔の造形だけではないんですよ。（笑）笑顔に、元気もらえるものです。

○今B型作業所に通ってます。そこの系列で相談所がありお世話になってます。困った事や疑問があれば解決するまで親身にしてもらい感謝してます。1年に1回書類作成して終わるのではありません。PSWの方がいるので心強いです。

レストハウス
たんぽぽ
岩国市川西4の5の156
TEL（0827）43の3033

電気も自給　持続可能な田舎暮らしを求めて
阿東つばめ農園
〒759-1512　山口市阿東徳佐中1694－2

俳句をする人はボケない
俳句雑誌『山彦』（主宰　河村正浩）
〒744-0024　山口県下松市花岡大黒町526-3
（0833）43-7531

精神保健福祉士をめざす学生さんを応援します

問い５

仮に現在安定していたとしても、再発の不安は抱えておられますでしょうか。その際、予防的に取り組んでいること等がありましたらお教えください。

問い６

今後、ＰＳＷに期待すること等がありましたら、お願いします。

問いに対して

○再発は、薬さえ飲んでおけば、大丈夫です。服薬を続けること、もし、途中で、薬が合わなければ、先生に何度でも相談し、調整すること。です。僕は悪い例で、あまりに薬を飲まないものだから、主治医の先生に「金光君にとって、人生で一番大切なことは薬を飲むことだよ」と、まで言われました(笑)

PSWさん、どうぞ服薬を守ることを、勧めてくださいね。

○自分は最初入院をして退院してから２回計３回入院をしました。看護師実習生の方がPSさんどこが悪いの？と聞かれました。外は見えても内面は見えません。精神分裂病の時代です。最初見た時はショックでした。５０歳まで働きましたが働きたくなり辞めて８年目で生活保護をもらい適度に作業所に行き幸せに過ごしてます。自分の予防法は無理をしないですね。休みの日は友達と食事したりしてます。

問いに対して

○PSWに期待したい事は1年に1回の支援計画書をコピペして日にち以外全く同じはやめてほしいですね。昔のPSWは毎回コピペしてました。今お世話になってる人は毎回いろんな提案助言をしてもらい計画書を良く考えられてます。

○PSWさんは、若くて綺麗でいてほしい。男性なら、身だしなみを整えて、気は優しくて力持ちタイプ。いつでもどこでも患者さんに見られてるので、カッコ良くいてほしい。人生経験を積んでいけば、相手の心に寄り添える素敵で素晴らしいPSWさんにきっとなれます。そこで重要なのが、貴方のその素敵な笑顔、です。

○正直、入院したときしか付き合いはなかったので、もっと退院してからも相談できるような精神保健福祉士さんが近くに欲しいなと思いました。いまだにどんな職業かわからないので。

コロナウイルスと闘う
医療関係者の皆様へ
心より感謝申し上げます

出ウェブ制作版
株式会社 くるとん
〒742-0417
岩国市周東町下久原221-1
TEL0827（81）1551
https://crouton.co.jp

周南地域のケーブルテレビで放映中の福祉番組
こころてれび
MC
大橋広宣
恵　雅子

周南の地域で支える「心の悩み」
ひだまりの会
代表（松田茂）　0834(26)0533

みんつどスポンサーさんのご意見

読者あって、スポンサーあって、取材対象あってのみんつど。今回は、みんつどのスポンサーにスポットを当てましょう。十五号現在、多くの企業・団体からのご協賛があります。普段から協力はしていただいてはいますが、あらためて、ここで少しスポンサーの意見を掲載します。みなさん、お忙しい中ありがとうございます。

○わたしは視覚障がいなので対面朗読を楽しみにしています。イラストや写真もイメージを膨らませていますよ！　今後も期待しています。（顧問の村岡正さま）

○統合失調症など精神疾患の理解が進んだ。付き合っていてもわからなかったことが誌面を通して理解できるようになった。（俳句雑誌「山彦」河村正浩さま）

○「みんつど」なんて素敵な誌名なんでしょう。これからも天地さんを中心として、みんなが集い気持ちを寄せ合える、認め合える誌面であられることを願っています（「こころてれび」出演者・スタッフ一同さま）

○毎回、当事者会には数部刷ってみんなが読めるようにしていますよ。個人的には聞き書きなどうまくまとめているなあといった印象を受けます。今後ともよい誌面づくりを期待します。（ひだまりの会代表・松田茂さま）

○『みんつど』は、いろんなみんながつどえる場。世の中、「みんな違ってみんないい」は金子みすゞさんだけど、ちょっと優等生っぽい感じもあります。障がいがあっても、いまはなくても、どんな人でも不便じゃないようにするのが、「みんな違ってみんなフツー」のノーマライゼーションなのだそうです。私は、アフリカやスペインや奄美沖縄の人びとの暮らしを勉強していますけれど、食べるものから、言葉やものの考え方まで、実にさまざまで、しかも変てこ。だから、「みんな違ってみんな変」というのが一番しっくりきます。これからは、『みんつど』番外編として、天地さんの小説とかも掲載させてもらえたら、いいかなと思っています。『みんつど』に座敷をお貸ししている、安渓遊地でした。（阿東つばめ農園の安渓遊地さま）

○「みんつど」の感想を寄稿して欲しいとのことで、見落としていた10号以降を読みました。そして、その充実ぶりに驚きました。

天地さんの本「わたしは山頭火！？」の出版のお手伝いをすることを通じて、天地さんの障がいについて、一定の知識と理解を持つに至ったような気がしていました。しかし、改めて「みんつど」に触れると、「本当にこの人は統合失調症を患っているのだろうか？」と疑問に感じます。そう感じさせるほど、文章がまとまっていて言いたいことが伝わりながらも、適度にユーモアがある。つまるところ、前述の著書の執筆時よりも、随分と進化されているように思うのです。

もしかすると、著書を世に出すことが、幾ばくかのリハビリにもなったのか。はたまた自信にもつながったのかと思ったりします。

出版社としては、「もっと本が売れないかな」等という、ふらちな考えが頭をもたげてしまいますが、その一方で、天地さんの障がいが癒される効果があったとすれば、それはこの上なく嬉しいことです。

天地さんはAmazonの闘病記ランキングを日夜チェックして「今日は何位になった！」と一喜一憂されますが、私はまったく気にしていません。「わたしは山頭火！？」は、コロナ禍のなかにあってとてもタイムリーな話題を扱っているようにも思いますが、実は、どの時代であっても変わることのない「心の健康」という普遍的なテーマを扱った作品です。だから、「いつまでに売り切る！」というものではなくて、賞味期限があってないようなもの。さしむきこの「みんつど」が世間にもっと流布されれば、本もそのうち売れるのではないかと、のんきに構えています。

天地さんには数行でいいと言われましたが、数行ほど難しいものはないので、だらだらと書きました。伝えたかったことは、この素晴らしい「みんつど」が読者のみなさんの手でもっと広がり、あわよくば「わたしは山頭火！？」が重版となることを夢見ている。そんなふらちな編集者の戯言です。（くるとん藤井康弘さま）

編集後記
編集長面

毎号感謝いたします。何かご意見ありましたら、docomo.komo.2019@gmail.com（天地）まで。

「へんてこな家族」原井育子著
問い合わせ(090)13599578